

市の出来事から

伊手小・創立40周年を盛大に祝う

市立伊手小学校（佐藤園子校長、児童86人）の創立40周年記念式典は10月31日、同校体育館で行われました。式典には児童や関係者、地域住民ら約250人が出席し、歴代校長やPTA会長などへ感謝状の贈呈などを行い、節目の年を祝いました。同校は昭和44年、伊手小学校

と上伊手小学校の名目統合により創立。昭和46年には現在地へ移り新生・伊手小が実質的にスタートを切りました。その後、30年以上にわたり多くの児童を育んできた旧校舎の老朽化に伴い、平成15年3月から新しい現校舎での学校生活が始まっています。

同校はこれまで、地域の皆さんと一体となった取り組みを行った結果、特に鼓笛隊やミニバスケットボールなどで顕著な活躍を見せています。また、平成3年からは地域の伝統芸能を次代へつなぐ取り組みとして始めた「伊手金津流鹿踊」は、同校の新たな伝統として、地区内外に知られるものとなっています。



式典でさわやかな校歌を響かせた児童

防犯標語で全国最優秀賞に輝く



最優秀賞に輝いた高橋彩夏さんと百済晶子校長（左）、菅原教育長

（財）全国防犯協会連合会が主催する平成21年全国地域安全運動の「振り込め詐欺防止標語」の部で、若柳小5年の高橋彩夏さん（11）の作品が見事、全国最優秀賞に輝きました。彩夏さんが応募した標語は「信じるな 顔がみえない むこうがわ」。

この標語は同連合会が作成するポスターに採用され、犯罪防止のため、全国各地で活躍する予定です。

水沢の山崎さんがめでたく百歳

市は10月7日、満百歳を迎えた山崎嘉悦さん。水沢区字見分森Ⅱに記念品を贈り長寿を祝いました。

山崎さんは青森県生まれ。戦前・戦中の時期を樺太で過ごし、戦後、水沢に住まいを移し、資源回収や新聞配達などで家計を支えました。入所している介護施設での誕生会では、入所者・職員のほか愛娘の都子さんも訪れ、百歳を盛大に祝いました。



山崎嘉悦さん(10月7日)

消費生活Q&A相談

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。

消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おしゅうお知らせ版の「相談窓口」を参照してください。

Q 6年前、配置薬の営業のため若い男性が家に訪れました。話が豊富な人で好感が持て、「半年に1度は点検に来る。使用しなければ1円も支払う義務はない。もしものために薬を置いておけば安心」との説明に納得し、薬の配置を承諾しました。しかしその後、1度も点検に来ないまま数年が経過し、薬の使用期限も切れていたため、今後も営業員は来ないものと判断し、薬を捨てました。

ところが先日、見覚えのない営業員が訪れ、6年振りに薬箱を点検し廃棄分の総額を請求されました。これまで点検に来なかったことを抗議しましたが、「前の営業員は辞めた」などの言い分で「無くなっている分は支払ってもらう」と譲りません。勝手に処分した事は反省していますが、点検に来なかった業者に落ち度はないのでしょうか。

A 家庭に薬を預け、使った分の薬代の請求や薬の補充をする料金後払いのシステムは、便利なサービスとして古くから親しまれています。しかし「断っても強引に薬を置いて行かれた・暴言を吐かれた」という悪質な顧客拡大のトラブルや「解約に応じたくない」などの事例も全国各地で問題になっています。薬を預かるということは、保管義務が生じます。また、配置薬の保管義務期間は法的には解

釈が難しく、無断で処分すれば、使用したものとみなされる場合があります。このようなトラブルを未然に防ぐ「医薬品配置協議会」では、「点検から5年経過した分は請求しない」自主基準を設けていますが、事例の業者は協議会に加入していませんでした。今回の場合は、交渉の結果、半額を支払うことになりました。（本庁市民課総合相談室）

お元氣レシピ

簡単お弁当メニュー⑧

えのきポークロール



材料（4人分）
豚ロース薄切り肉……………250g
エノキダケ……………1袋(200g)
大葉……………12枚
小麦粉・はちみつ……………大さじ1
バター……………大さじ½
ポン酢……………大さじ4
レタス・ゆでブロッコリー……………各適量
ミニトマト……………4個

作り方

- ①豚肉を巻きやすい長さにカットする。エノキは根元を切り落とし、肉の枚数分を目安に裂いておく
- ②肉を広げ、大葉、エノキをのせ、端から斜めに巻いていき、パットなどに並べて小麦粉を茶こしで両面にふりかける
- ③フライパンにバターを入れ、中火で全体に焼き色がつくように、ソテーする
- ④ポン酢、はちみつを加え、肉を適度に転がしながら、調味料がごくわずかになり肉に絡むまでソテーする

わたしたちが作りました



前沢区食生活改善推進員協議会の皆さん

エノキダケを大葉で包むようにまくと、バラバラにならずに巻きやすいですよ。

こんばんは！
市長です
奥州市長
相原正明



フロアマネージャーとして来庁した市民の応対をする相原市長

10月16日、本庁1階のフロアで「フロアマネージャー」がスタートし、市長がトップバッターになりました。これは市の幹部が率先して、市役所においてになった市民の方々に、積極的に声を掛け、応対や案内をするものです。早速、1人の男性に担当課を聞かれ、そこに案内しました。腰を下ろして休んでいる女性の方にも話しかけてみました。

今後、本庁と総合支所で、毎週月曜日の午前11時から正午まで、フロアマネージャーが、市民の皆様に対応いたします。このような取り組みが、より一層敷居が低く、明るく温かい市役所の実現につながることを願っています。